

令和元年度 学校運営等に関する評価書

学校名	和歌山市立東山東小学校
作成日	令和 2年 3月 9日

1 教育目標

生きる力をはぐくみ、心身ともに健やかで、明日の社会を築く豊かな創造性と実践力を持つ子どもの育成。

2 学校自己評価についてのご意見

	確かな学力の向上	豊かな心の育成	健やかな体の育成	地域に開かれた学校
指標	・県学習到達度調査で県平均を上回る ・わかる授業、児童が主体的に取り組む(児童80%)	・学校が楽しい(児童90%) ・いじめ解消率100%	・新体力テストで全国平均を上回る ・早寝早起き朝ごはん90%	・地域とかかわった実践を全学級で実践 ・学校の様子がよく伝わった(保護者80%)
意見 重点目標に対する	○基礎学力の定着とともに、これからは主体的に判断し、問題解決していく力が必要になってくるので、両者ともに大切。	○体験的な活動は豊かな心の育成に役立つと考えられる。互いに認め合う仲間づくりにもつながる。	○基本的な生活習慣の確立は大変重要なことである。 ○しっかり体力をつけてほしい。	○地域の方々を招いての取り組みや交流は評価できるものであり、今後も大切にしていってほしい。 ○学校の様子を知る手立てを考えている。
意見 取組状況に対する	○難問クイズ等考える楽しさを味合わせる場を設けることはいいことである。 ○教科等別研修会で授業公開し、協議するなど、校外からも広く意見を取り入れることはいいことである。	○本校の縦割り活動は良い取り組みなので続けてほしい。 ○人権意識の啓発は大切である。	○毎年思うが、運動会の様子を見ると、どの子も一生懸命頑張っている姿が見られ、心身の成長を感じる。 ○歯の健康の増進に力を入れてくれている。	○様々な方に学校に来て頂き、いろいろな体験を子どもにさせるのは非常に良い事である。 ○良い活動が、良い形で取り組んでいる。本校の子どもたちは恵まれている。
意見 取組の適切さの検証結果に対する	○「うちどく」の表彰などに影響を受けて、それを目標にしながら読書に親しむ児童がさらに増えたことはいずれのことである。 ○基礎学力の向上にさらに努めてほしい。	○SNSやインターネットの普及にともない、ネット上の人権問題も増えている昨今、児童のみならず、大人も含めて情報モラルや情報機器との付き合い方について意識を持つことは大切。講演・講習会等の意識喚起する場を設けることには意義がある。	○自信をもって物事に取り組めることは大切。 ○本校の児童は基本的な生活習慣が身につけている児童が多いと思われる。 ○県の学校歯科保健最優良校に選ばれたのは、普段からの取り組みを評価されたものだろう。	○今後もこの活動を進め、子ども達に様々な体験をさせて欲しい。 ○交流授業等について、計画性を大事にして進められたことがよかった。
意見 改善方法に向けての意見	○「うちどく」について上記のことをうれしく思うし、それが発展してきているのは、これをきっかけとし、読書本来の楽しさに気づき、読書に親しむ児童が増えてきているのではないかと。さらに推進していってほしい。	○子ども達の心身の健全育成のために来年度も様々な活動や取り組みを積極的に進めてもらいたい。	○フッ化物洗口は続けていくとよいと思われる。 ○基礎の運動はいろんな運動につながるもので、大切。今後も積極的に取り組んでもらいたい。	○昨年度から引き続き良い取り組みができたし、安定してきたが、さらに新しい広がりを目指していけたらと思う。

3 その他のご意見

○トイレ等の改修が行われたが、今後も学校設備や通学路等についてさらに環境整備に努めていただきたい。